

教育長の退任・就任について

退任のご挨拶



和泉 修治

このたびの退任にあたり一言御礼を申し上げます。わずか三年四ヶ月の在任中、町当局をはじめ町民の方々、教育関係の方々には大変お世話様になり、心から厚く御礼を申し上げます。

今までの町の教育行政の主たる課題としては学校週五日制の本格実施をはじめとして、小須戸町の町制施行百十周年を記念した「まごころのまち宣言」をうけた町の推進運動の母体となる「まごころのまちづくり協議会」を立ち上げたこと、これと関連したイベントである「まごころのまちづくりフォーラム」の実施などがあります。さらには光ファイバーケーブルを用いた最新の高速ブロードバンドによる町のイントラネット活用の教育イントラでの各学校・園などのホームページの立ち上げと効果的な活用など、新時代に即応した小須戸町の教育を展望した事業の展開がありこれに関しては、関係各方面の方々の格段のご努力とご協力、ご援助があったためと心から感謝いたしております。特に「まごころのまちづくりフォーラム」の実施は、今年で三回目になりますが、将来何十年にもわたって通用する内容です。で継続して実施することが課題であると確信しております。町は合併が行われても小須戸町の人々の心の中の「まごころ」は不滅であります。終わりにあたり、関係各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。退任の挨拶いたします。

就任のご挨拶



古田 恒夫

さわやかな、錦秋の候となりましたが、皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、図らずも当町の教育長に就任することになりました。町の教育行政に携わるのは初めてですが、その職責の重要性を自覚し、誠に微力ではありますが全力をあげて精進したいと存じます。いま、日本の教育は大きな転換期を迎えていることは、誰もが実感しているところではないでしょうか。中央教育審議会では、日本の教育が直面している現状と課題を整理し、次代に継承すべき価値のあるもの（不易）と時代の

変化とともに変えていくことが必要なもの（流行）について見極めることの大切さを説き、新しい時代の在り方を、中間報告で提言しています。この教育改革の流れを確実に読み取り、これからの時代を生きる子どもたちの「学び」が、学校教育だけでなく、家庭や地域の協力によって、その豊かさを実現できるものと思えます。実践上の課題も多くあることを認識しつつ、様々な視点から解決の糸口を探りながら、前教育長の実績を踏まえ、関係各位とともに、一歩一歩着実に、しかも誠意を持って対応していきたいと考えております。

町教育施策の充実・発展のため、どうか皆様のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。就任の挨拶いたします。

小須戸町教育長として活躍されてこられた教育委員和泉修治氏が、七月三十一日をもって退任いたしました。後任として、小須戸町教育長に、教育委員 古田恒夫氏（新保三六三七）が、九月二十二日より就任いたしました。

小須戸町ガス事業の民営化について

小須戸町では、広報「こすど」9月号でお知らせしたとおり、ガス事業の民間譲渡について検討をすすめています。今回は、ガス事業を取り巻く状況や、今後の町の動きなどをお知らせいたします。

公営ガス事業を取り巻く現状及び課題

- ・近年、公営ガス事業の民間企業への事業譲渡が活発化しています。
- ・平成13年には6事業者が事業譲渡を実施（新潟県でも平成14・15年に各1事業者が民間譲渡）し、他の事業者においても今後の事業譲渡を予定あるいは検討している状況です。
- ・全国の一般ガス事業者数は、229業者（うち公営は58業者）〔平成15年8月末現在〕公営が占める割合は、ガス販売量で2.6% 需要家数は4.2%

高カロリー化への対応

- ・IGF21計画（※）に基づく高カロリー化には、多額の投資が必要
- ・エネルギー分野における規制緩和の進展に伴い競争の激化が予想される中で、高カロリー化のための投下資本の回収の目途が立ちにくい

エネルギー分野における規制緩和の進展

- ・今後予定されている電力・ガス分野における制度改革・規制緩和により、電力・ガス事業者間、ガス事業者間の競争が激化

地方公共団体における行財政改革の進展

- ・多くの地方公共団体において、地方分権の進展、地方財政の悪化等を受け、公的役割の再検討等により、業務の簡素化、組織の見直し等を実施

地方公営企業への民間的経営手法の導入の促進

- ・いわゆる「骨太の方針」に、地方公営企業への民間的経営手法の導入を促進することが盛り込まれている

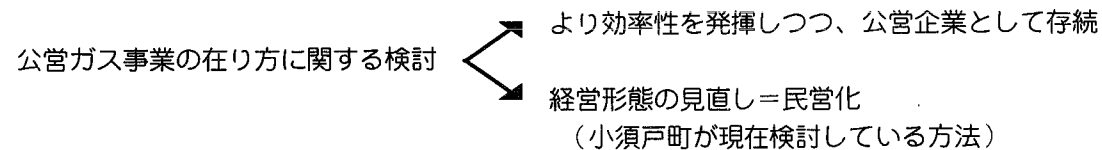
※ IGF21計画（IGF：Integrated Gas Family）

平成2年1月、通商産業省資源エネルギー庁から提言された計画で、ガス事業者の近代化、合理化や需要家サービスの向上等の観点から、ガス事業者の低カロリーガスグループについては、平成22年を目標に天然ガス等の高カロリーガス（13A等）へ統一を図る必要があるとされている。

【小須戸町で供給しているガスは13Aです】

環境の変化への対応

《各事業者は、公営ガス事業の在り方について検討を行うべき状況を迎えています》



事業譲渡方式

事業を民間企業に売却する方式

- ・事業の継承先が、既に他地域で一般ガス事業を行っている場合には、円滑な事業譲渡が期待され、住民にとっても経営主体の変更に対する不安も少なくなります。

小須戸町の今後の予定

- ・第3回 小須戸町ガス事業民営化審議委員会（10月上旬）
- ・第4回 小須戸町ガス事業民営化審議委員会（10月中旬）

東北電気保安協会から
暮らしと電気安全のお知らせ

**漏電ブレーカーを
テストしましょう**

最近では、ほとんどのお宅に漏電ブレーカーが取り付けられております。これは、屋内配線や洗濯機などの電気器具が万一漏電したときに、電気を自動的に止めて感電や電気火災などの災害を防止する大切な役目を果たします。

毎月一回はテストボタンを押して漏電ブレーカーが実際に動作するかどうか確かめてください。

単三方式で受電のお客様には、中性線欠相保護付漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。